



2019年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年1月9日

上場会社名 マックスバリュ中部株式会社

上場取引所 名

コード番号 8171 URL <http://www.mv-chubu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木芳知

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員管理本部長 (氏名) 望月俊二

TEL 052-857-0719

四半期報告書提出予定日 2019年1月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年2月期第3四半期の連結業績(2018年3月1日～2018年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年2月期第3四半期	133,844	0.8	1,852	0.3	2,079	8.2	1,262	6.2
2018年2月期第3四半期	132,843	0.1	1,846	33.8	1,921	31.6	1,188	22.2

(注) 包括利益 2019年2月期第3四半期 1,190百万円 (0.7%) 2018年2月期第3四半期 1,198百万円 (13.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年2月期第3四半期	40.09	39.99
2018年2月期第3四半期	37.60	37.49

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年2月期第3四半期	49,497	19,659	39.4
2018年2月期	47,909	18,900	39.0

(参考) 自己資本 2019年2月期第3四半期 19,477百万円 2018年2月期 18,677百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年2月期				14.00	14.00
2019年2月期					
2019年2月期(予想)				14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年2月期の連結業績予想(2018年3月1日～2019年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	180,000	0.9	3,440	0.2	3,480	11.2	1,760	2.7	55.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年2月期3Q	31,734,623 株	2018年2月期	31,734,623 株
期末自己株式数	2019年2月期3Q	240,291 株	2018年2月期	263,289 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年2月期3Q	31,492,088 株	2018年2月期3Q	31,618,971 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に景気の回復基調は続いている一方、生活必需品の値上げなどにより生活防衛意識は高まり、消費者の節約志向は強まっています。当社が属する食品小売業界においては、異業種異業態との激しい競争や人手不足など、依然として厳しい経営環境が続いています。このような状況の中、「ハレの日から普段使いまで、毎日のおいしい食卓をご提供する近くて便利なスーパーマーケット」の実現を目指し、様々な取り組みを進めています。

○新規出店・既存店の改装

新規出店では、7月に「ザ・ビッグ エクスプレス楠店」(名古屋市北区)、10月に「ザ・ビッグ エクスプレス南陽店」(名古屋市港区)、「マックスバリュ大津月輪店」(滋賀県大津市)の3店舗を出店するとともに、ネットスーパーを新規に3店舗で開始し、エリアシェアの拡大を図りました。また、既存店の改装では、地域特性やライフスタイルの変化に対応した改装を17店舗で実施、収益力の向上に注力しました。9月に改装した「マックスバリュ名張店」(三重県名張市)では、売場面積を拡大し、生鮮食品やトレンドカテゴリーの品揃えを拡充しました。また、11月に改装した「マックスバリュ学園前店」(三重県松阪市)では、特に農産・畜産部門の売場を拡大、普段使いの商品をお値打ち価格でご提供し、これまでより広域からもご来店いただいております。

○商品力・営業力の強化

新規商品開発では、カロリーオフや栄養バランスのとれた健康志向に対応した商品の開発に取り組むとともに、惣菜部門のベーシック商品のリニューアルを進めました。また、節約志向への対応では、「家計応援」と題した価格訴求を継続して実施し、競争店との差別化に取り組んでいます。

販売促進では、客数・客単価アップを図るために、今年度よりお客さまのニーズに合った商品をお値打ちにご提供する「マックスサンデー」を月初めの日曜日に開催しています。

システム面では、商品発注業務の効率化と発注精度向上による機会ロス・値引きロスの改善を図るために商品発注システムの自動化を進めるとともに、レジシステムの更新やセミセルフレジを導入し、お客さまのレジ待ちの解消やレジ業務の効率の改善に取り組んでいます。

店舗サービスでは、宅配便を都合のよいタイミングで受け取れるロッカーサービス「PUDOステーション」の設置を9月より開始し、お客さまの利便性の向上を図っています。

○人材育成

商品化技術を向上させるために生鮮部門の技術認定を実施しています。また、商品の基礎的知識・調理方法の知識を習得する「ちゃんとごはんセミナー」を開催し、お客さまにバランスの良い食事と旬のおいしい商品をご提案できる従業員の育成を進めています。そして、従業員が認知症の方やそのご家族をサポートできるように、認知症サポーター養成講座の受講を推進しています。

○連結子会社

永旺美思佰樂(江蘇)商業有限公司では、3月末に「マックスバリュ樂園店」(蘇州市高新区)を閉店し、4月に「マックスバリュ城市生活広場店(蘇州市姑蘇区)」を新規出店しました。また、デリカ食品株式会社では、名物商品の「やみつきいなり」のリニューアルやオリジナル弁当の新商品開発に取り組みました。

以上のような取り組みを行った結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益は1,338億44百万円(前年同期比0.8%増)となりました。営業利益は、18億52百万円(前年同期比0.3%増)、経常利益は20億79百万円(前年同期比8.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益12億62百万円(前年同期比6.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ15億87百万円増加し、494億97百万円となりました。増減の主な内訳は、関係会社短期貸付金が7億円、有形固定資産が5億86百万円増加したこと等によるものであります。

また、当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ8億27百万円増加し、298億37百万円となりました。増減の主な内訳は、長期借入金が7億54百万円減少しましたが、未払金及び未払費用が12億17百万円、買掛金が10億70百万円増加したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ7億59百万円増加し、196億59百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年2月期の連結業績予想につきましては、本資料の公表時点において、2018年4月11日の「平成30年2月期決算短信」で発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,190	2,871
売掛金	217	279
商品	4,246	4,646
繰延税金資産	337	469
関係会社短期貸付金	3,600	4,300
その他	5,108	5,246
貸倒引当金	-	△0
流動資産合計	16,699	17,813
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,447	12,779
機械装置及び運搬具(純額)	138	131
土地	6,899	6,865
建設仮勘定	242	161
その他(純額)	2,953	3,328
有形固定資産合計	22,680	23,267
無形固定資産		
のれん	141	108
その他	151	126
無形固定資産合計	293	235
投資その他の資産		
投資有価証券	572	509
繰延税金資産	2,508	2,547
差入保証金	4,492	4,438
その他	777	800
貸倒引当金	△115	△114
投資その他の資産合計	8,235	8,181
固定資産合計	31,209	31,683
資産合計	47,909	49,497
負債の部		
流動負債		
買掛金	14,717	15,787
1年内返済予定の長期借入金	1,044	877
未払金及び未払費用	3,637	4,854
未払法人税等	787	500
未払消費税等	287	290
賞与引当金	670	178
役員業績報酬引当金	12	27
店舗閉鎖損失引当金	6	-
設備関係支払手形	192	583
その他	975	1,092
流動負債合計	22,332	24,192

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年11月30日)
固定負債		
長期借入金	949	194
店舗閉鎖損失引当金	20	20
その他の引当金	8	6
退職給付に係る負債	190	140
長期預り保証金	2,931	2,826
資産除去債務	1,625	1,662
その他	951	794
固定負債合計	6,677	5,644
負債合計	29,009	29,837
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,950	3,950
資本剰余金	7,298	7,285
利益剰余金	7,951	8,773
自己株式	△346	△316
株主資本合計	18,853	19,693
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	54	10
為替換算調整勘定	61	38
退職給付に係る調整累計額	△293	△265
その他の包括利益累計額合計	△176	△216
新株予約権	78	71
非支配株主持分	144	111
純資産合計	18,900	19,659
負債純資産合計	47,909	49,497

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年11月30日)
売上高	129,462	130,519
売上原価	96,059	96,938
売上総利益	33,403	33,581
その他の営業収入	3,381	3,324
営業総利益	36,784	36,906
販売費及び一般管理費	34,938	35,054
営業利益	1,846	1,852
営業外収益		
受取利息	18	20
受取配当金	10	9
違約金収入	35	10
受取保険金	25	80
受取補償金	-	144
その他	45	26
営業外収益合計	135	291
営業外費用		
支払利息	31	25
為替差損	-	12
支払補償費	18	-
その他	9	26
営業外費用合計	59	64
経常利益	1,921	2,079
特別利益		
受取保険金	42	36
特別利益合計	42	36
特別損失		
減損損失	228	99
災害による損失	-	54
特別損失合計	228	154
税金等調整前四半期純利益	1,735	1,961
法人税、住民税及び事業税	699	883
法人税等調整額	△115	△163
法人税等合計	583	719
四半期純利益	1,152	1,242
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△36	△20
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,188	1,262

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年3月1日 至 2017年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年11月30日)
四半期純利益	1,152	1,242
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24	△44
為替換算調整勘定	△0	△34
退職給付に係る調整額	22	27
その他の包括利益合計	46	△51
四半期包括利益	1,198	1,190
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,240	1,217
非支配株主に係る四半期包括利益	△42	△27

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。